

オンライン開催 ※全日程とも内容は同じです。ご都合のよい日程をお選びください。

講座内容 & スケジュール	2022年	2/12 土	2/16 水	2/18 金
		2/22 火	3/23 水	3/26 土
時間は全日程13:00～16:30 (ログイン開始12:30～)				

受講料	一般価格 税抜 10,000円 (税込 11,000円)/一名様	会員価格 税抜 8,000円 (税込 8,800円)/一名様
-----	----------------------------------	--------------------------------

講座	内容
第1講座	税理士業界の動向と課題感とは？ 株式会社船井総合研究所 土業支援部 会計グループ リーダー 塩見 菜緒 船井総合研究所に新卒入社後、会計事務所向けコンサルティンググループに配属。公的制度支援を切り口とした顧問獲得に特化したコンサルティングに定評がある。現在は都心部～地方まで創業支援に注力する約20の事務所を中心に、業績アップに寄与できるよう奔走している。
特別ゲスト講座	監査部門の生産性が126%アップした秘訣大公開 あすか税理士法人 代表社員税理士 加藤 知子氏 札幌の税理士事務所勤務を経て、当法人の前身「川股税務会計事務所」設立に伴い参画。2008年に税理士資格を取得。2011年、現在のあすか税理士法人の核となる内部通貨、時間管理体制を採用し、獲得案件を内部通貨で分担し仕事を頼む・頼まれる負担を無くし、投下時間を設定し業務を遂行する「あすか式生産管理制度」を構築。相続専門の大通Regaloでは、10億円を超える相続相談など高度な案件に従事。
第2講座	あすか税理士法人 社員税理士 米田 明広氏 2006年にあすか税理士法人の前身「川股税務会計事務所」に入社。業務の傍ら勉学に励み20代で税理士資格を取得する。法人化した後も柔軟性を武器に、これまで不動産関連業をはじめ約300社の経営指導に携わり、個人事業主から年商100億円規模の法人まで、そのサポート範囲は多岐に渡る。2013年に役員に就任組織のブランディング、自身の人間力向上のために役員になった現在も毎月の新規クライアント獲得を欠かさない。2018年より小樽商科大学・大学院に入学。2020年MBAを取得。税務会計分野だけでなくマーケティングや経営戦略等の幅広い課題解決に取り組んでいる。
第3講座	即取組可能！生産性向上に向けた施策とは？ 株式会社船井総合研究所 土業支援部 会計グループ リーダー 塩見 菜緒
第4講座	今、経営者に考えてほしいこと 株式会社船井総合研究所 土業支援部 マネージングディレクター 小高 健詩 2007年に株式会社船井総合研究所に入社。入社以来土業分野を専門にコンサルティングを行い、2017年より国家資格・業種に関係なく相続・信託業務を取り扱う相続グループの責任者を務める。その後、2020年より土業全般の統括責任者として「これからの中小企業を支え、少子高齢化・人口減で発生する社会問題を解決できる」基盤をつくる」というミッションを掲げて活動している。

WEBからお申し込みいただけます！

右記のQRコードを読み取りいただき、Webページのお申し込みフォームよりお申し込みくださいませ。

セミナー情報を下記Webページからもご覧いただけます！

<https://www.funaisoken.co.jp/seminar/081960>



新型コロナウイルス感染症に罹患された皆さま、および関係者の皆さまに心よりお見舞い申し上げます。

年間一人当たり平均**84時間**の**労働時間を削減**しながら



監査部門の生産性向上のポイント

- ✓ チャットツール・グループウェア・リモートツールを活用する
- ✓ 監査担当者を早期育成するための仕組づくり&スキルマップ作成を進める

事務所の経営数値を把握し、効果的な打ち手を繰り出す“リアルタイム経営”を実現する



ゲスト講師
あすか税理士法人
代表社員税理士 **加藤 知子氏**

全日程オンライン開催 PC・スマホ・タブレットで自宅や事務所から参加！

2022年 13:00～16:30 (ログイン開始12:30～)

2/12 土 2/16 水 2/18 金

2/22 火 3/23 水 3/26 土

ご好評につき特別価格で開催！

- 一般価格: **10,000円** (税込 11,000円/1名様)
- 会員価格: **8,000円** (税込 8,800円/1名様)
- コンサルタントによる **60分無料** 経営相談

監査部門の生産性を126%UP！オンラインセミナー

お問い合わせNo. **S081960**



明日のグレートカンパニーを創る

Fundai Soken

船井総研セミナー事務局

E-mail: seminar271@funaisoken.co.jp

株式会社船井総合研究所 〒541-0041 大阪市中央区北浜4-4-10 船井総研大阪本社ビル

WEBからお申し込みいただけます。(船井総研ホームページ[www.funaisoken.co.jp]右上検索窓に「お問い合わせNo.」を入力ください。)→ **081960** 検索

※お問合せの際は「セミナータイトル・お問い合わせNO・お客様氏名」を明記のうえ、ご連絡ください

今こそ着手すべき！時代は“監査担当に注目した”業務効率化！

このような方に
オススメです

- ✓ 生産性向上に取り組みたいが何から取り組んだら良いかわからない会計事務所
- ✓ 監査担当者の数・スキルに不安があり、せっかくの紹介を断っている事務所
- ✓ ただツールを導入するだけではなく仕組から改善していきたいと考えている事務所
- ✓ 業務効率化と業績アップの両輪を進めたい事務所
- ✓ 職員の定着率を上げたいと考えている事務所

生産性向上の3大ポイントを徹底解説！

“監査担当者”の 生産性を上げる理由

■ 監査担当者の生産性を上げる方が 業績に直結する

多くの事務所様では、**事務所の顧問先総数 = 監査担当者数 × 1人当たりの担当できる件数**という式が成り立つと思います。となると、どちらか(どちらも)の変数を増加させることが業績に直結します。しかし、担当ができる職員がそもそも足りていなかったり、監査担当の人数がそろっていても「育成が追い付いていない」、「担当社数が少ない」という理由で、仕事を増やすことができない状況になっていないでしょうか？

■ 製造部門の方がより業務効率化の 改善余地がある

製造部門の生産性もちろん向上すべきです。しかし、製造部分については、外注活用やクラウド会計導入や自計化等、外部に依頼することも可能ですし、すでに取り組んでいる事務所様も多いと思います。またRPAやAIツールの導入で簡素化がしやすく既に取り組んでいるが、事務所全体の生産性が上がらない…という事務所様も多く見受けられます。そのため「**監査担当**」に注目すべきです。

★ポイント

監査担当業務×デジタル化

監査担当の業務を因数分解していくと、**デジタルツールを使うことで効率化できる部分が多い**ことがわかります。

例えば、監査の移動時間はリモート化することで削減につながったり、電話のやり取りをチャットにすることでスムーズな業務効率化となります。

リモート監査導入率50%で 高生産性

■ 移動時間がもったいない！

顧問先との打ち合わせ方法ですが、一部来所型の事務所様もありますが、まだまだ「訪問している」ケースも多いのが事実です。一部リモート監査をされていることもあるかもしれませんが、多くの事務所様が全顧問先の5%程度しかリモート監査を導入できてない状況でも、「リモート監査ができている」と思っていることも見受けられます。また、リモート監査で顧客満足度が高い・上げるケースもあるのに、「訪問」に固執をしている事務所や職員様もいらっしゃいます。このリモート監査を導入することで、**訪問の準備～往復の移動時間の削減はもちろん、プラスαでのポイントもたくさんあります。**例えば今回のゲスト、あすか税理士法人様は往復の移動時間「1時間15分」の削減につながっています。

■ リモート監査の導入はどう進めるのか？

リモートでの打ち合わせで時間短縮、それはご理解いただけることかと思います。しかし、職員&顧問先に理解されるのか？反発はないのか？は少し心配要素です。

ツールについては、説明資料を用いて、職員・顧問先ともに操れるように進めます。(そこまで難しいデジタルツールではないです) また、職員には事前に所内で説明会を開き、事務所の方針、リモート監査導入の目的、期待できる効果(職員目線での還元要素)を説明します。顧問先も理解いただけそうな先を選定し、ご説明した上で進めていきますので、躓かずに導入を進めることが可能です。



チャットツール&システム 導入の専任化/外注化

■ 顧問先との連絡手段の統一

顧問先や所内業務において、電話・メール・チャットツール等複数になっていませんか？そうすると情報を探す・共有する手間もかかります。そういったチャットツールを活用することは、「**情報共有や次に何をすべきかの指示出しの手間が省ける**」、「**外出先でも確認ができ、クイックレスポンスが可能**」、「**デジタルストレージによる証憑の収集**」と業務効率化につながります。

■ システム導入の専任化/外注化

製販分離をされている事務所様もいらっしゃると思いますが、それとは別に、システム導入は専任化、もしくは外注化した方が良いです。前出のリモートツール、チャットツール、デジタルストレージや会計ソフトなどの**デジタルツールの設定や使い方は、システム担当者を専任化することで顧問先への導入スピードが上がり、監査担当者の業務負担も減り、本来取り組むべき業務に注力することができるようになります。**システム周りのことであればシステム担当がすぐに回答・対応するため、**監査担当者の時間を浮かすことができます。**このシステム導入の対応担当は社内には設けず、**外注化することも可能**です。

■ 監査担当者の評価をポイント化

ただデジタルツールを導入するだけでなく、全スタッフが使いこなせるようなルール作りが非常に重要な意味を持ちます。**監査担当自身が自発的に顧客満足や生産性を上げるための行動をとれるように、評価制度等の仕組を整備し直す**ことがポイントです。

スキルマップ活用で 監査担当者の早期育成

■ 早期育成のカギはデジタルツール活用

監査担当者の育成はどの事務所様も課題だと思います。若手監査担当者の一人立ちをいかに早期にできるか、そのカギは**デジタルツール活用とスキルマップ**です。例えば、顧客とのやり取りをチャットツールに統一することで、先輩方の顧客とのやり取りを目にする機会を増やしたり、リモート監査導入により同席機会を増やすということで、場数を増やすことにつながります。(逆に上司の目の届くところで仕事を進めますのでクレーム防止・早期発見にもつながります) また、マニュアルも紙ではなく動画にすることで、作成コストの削減にもつながりますし、見る側もわかりやすくなります。

■ 育成ステップを構築する

一方、あまりに早期にお客様の前へ出すと、ちょっとした雑談や提案がしにくいのでは？という疑問もあるかと思います。そこは、**社内勉強会の開催や同席者配分制度(同席し価値発揮することも評価する)等の評価ポイントを明確化**することで、個々人の自発性を磨きます。また生産性向上により、浮いた時間を還元するためにも、残業時間の削減や賞与での還元等、事務所内部体制を整えていきます。



更に！当日限定で生産性向上のために 必要なツール類を公開します！

リモートツール

ZOOMマニュアル



オンライン導入に関する調査

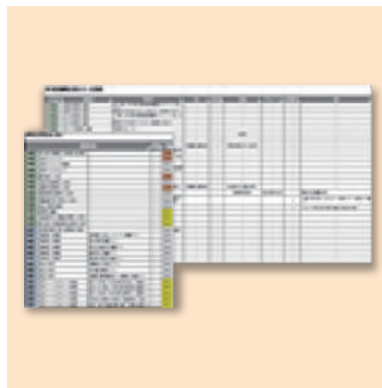


顧問先対応ツール

顧問先満足度調査



顧問先への 商品提案パターン表

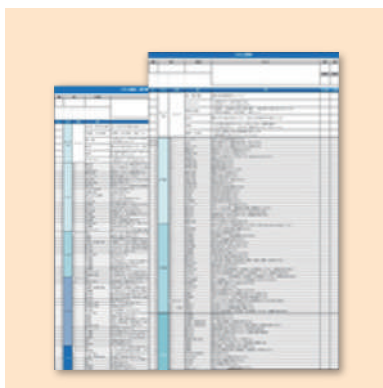


顧問紹介獲得ツール



内部体制ツール

監査担当スキルマップ



同行者配分制度説明資料



リモート監査導入 従業員向け説明資料



ご入金確認後、マイページの案内をもってセミナー受付とさせていただきます。

監査部門の生産性を126%UP！オンラインセミナー

お問合せNo. S081960

開催要項

オンライン開催

開催時間 13:00～16:30 (ログイン開始12:30～)

2022年

※全日程とも同じ内容となっております。ご都合のよい日時をお選びください。

2月12日(土)

2月16日(水)

2月18日(金)

【申込締切日 2月8日(火)】

【申込締切日 2月12日(土)】

【申込締切日 2月14日(月)】

2月22日(火)

3月23日(水)

3月26日(土)

【申込締切日 2月18日(金)】

【申込締切日 3月19日(土)】

【申込締切日 3月22日(火)】

本講座はオンライン受講となっております。諸事情により受講いただけない場合がございます。ご了承ください。

「オンラインミーティングツール「Zoom」を使用いたします。Zoomのご参加方法の詳細は「船井総研 Web参加」で検索」

日時・会場

一般価格 税抜 10,000円 (税込 11,000円) / 一名様

会員価格 税抜 8,000円 (税込 8,800円) / 一名様

※ご入金の際は、税込金額でのお振込をお願いいたします。

●お支払いが、クレジットの場合はお申込み手続き完了後の案内(メール)をもって、セミナー受付とさせていただきます。銀行振込の場合はご入金確認後、お送りする案内(メール)をもってセミナー受付とさせていただきます。●銀行振込の方は、税込金額でのお振込みをお願いいたします。お振込みいただいたにも関わらずメールがお手元に届かない場合や、セミナー開催4日前までにお振込みできない場合は、事前にご連絡ください。なお、ご入金が確認できない場合は、お申込みを取消させていただく場合がございます。●ご参加を取り消される場合は、開催3日前まではマイページよりキャンセルをお願い致します。それ以降は下記船井総研セミナー事務局宛にメールにてご連絡ください。尚、ご参加料金の50%を、当日の欠席は100%をキャンセル料として申し受けますのでご注意ください。

●会員価格は、各種経営研究会・経営フォーラム、および社長onlineプレミアムプラン(旧:FUNAIメンバーズPlus)へ ご入会中のお客様のお申込に適用となります。

受講料

お申込方法

下記QRコードよりお申込みください。クレジット決済が可能です。受講票はWEB上でご確認ください。

または、船井総研ホームページ、右上検索窓にお問い合わせNo.081960を入力、検索ください。
(www.funaisoken.co.jp)

お問合せ



明日のグレートカンパニーを創る

Funai Soken 株式会社 船井総合研究所

船井総研セミナー事務局 **E-mail** seminar271@funaisoken.co.jp

TEL:0120-964-000(平日9:30～17:30) ●申込に関するお問い合わせ:藤野 ●内容に関するお問い合わせ:塩見

※お申込みに関してのよくあるご質問は「船井総研 FAQ」と検索しご確認ください

お申込みはこちらからお願いいたします

オンライン開催

2022年 2月12日(土)

申込締切日 2月8日(火)

2022年 2月16日(水)

申込締切日 2月12日(土)

2022年 2月18日(金)

申込締切日 2月14日(月)

2022年 2月22日(火)

申込締切日 2月18日(金)

2022年 3月23日(水)

申込締切日 3月19日(土)

2022年 3月26日(土)

申込締切日 3月22日(火)

【QRコードから】

下記QRよりお申込みください
クレジットカード決済も可能です。
受講票もWEB上でご確認ください。



INTERVIEW

<リモート監査導入セミナー>

札幌の税理士事務所勤務を経て、当法人の前身「川股税務会計事務所」設立に伴い参画。2008年に税理士資格を取得。2011年、現在のあすか税理士法人の核となる内部通貨、時間管理体制を採用し、獲得案件を内部通貨で分担し仕事を頼む・頼まれる負担を無くし、投下時間を設定し業務を遂行する「あすか式生産管理制度」を構築。相続専門の大通Regaloでは、10億円を超える相続相談など高度な案件に従事。

あすか税理士法人
代表社員税理士

加藤 知子 氏



「事務所の生産性向上」の取り組みが 結果的に顧問先の喜びにつながった！

なぜ生産性向上に 取り組もうと思ったか

2008年に税理士法人化し、業績管理等徹底することで2013年ごろから順調に業績を伸ばしてきました。しかし成長とともに、残業増×離職率上昇となってしまう、このままではいけないと思い、2019年「働き方改革＝生産性向上」の推進に着手しました。私自身デジタルツールに強いわけではないですが、必要なデジタルツール活用やシステム担当の設置等を進めていく中で、コロナ禍になりました。その部分をちょうど着手していたため即リモート監査の導入やテレワークに踏み込むことができました。結果的に、**移動時間の減少(平均往復1時間15分)**やそれに伴い**旅費交通費の削減、同席可能な状態によりOJTの効果も感じる**ことができました。

実際に取り組んだ デジタルツール導入は？

複合的な取り組みの成果が、今のこの2年での**生産性126%アップ**につながっていると感じております。1つは**システム担当の設置**です。とはいえエンジニア等というわけではなく、デジタルツール(会計ソフト・チャットワーク・ZOOM等)の設定・入力方法やちょっとしたPC等の使い方といった、監査担当の方も回答可能な質問等をそのシステム担当の方から対応する、そうすることで監査担当者の調べたり、回答そのものの時間の削減になります。もちろん、システム担当の方からの回答の方がプラスαの対応も可能なのでお客様からも喜ばれます。

また**チャットツールの導入**も効率化の1つとなっています。現在、全顧問先のうち**60-70%導入**しておりますが、電話そのものの時間の減少や社内での共有時間の削減につながっております。

リモート監査導入ももちろん先述の通り、移動時間削減につながっております。

お客様にもメリットが多かった

生産性向上という事務所メリットが強いのではないと思われる方もいるかと思いますが、**お客様からも喜びの声をいただく**ことが多いです。全体的に生産性が上がり浮いた時間ができたため、**お客様への提案・情報提供に時間を使うことができる**ようになりました。チャットツール導入の場合も担当者が若手でも、上司が一緒にチャットにいることで**安心感+対応力のプラス**につながります。リモート監査も必要に応じて上司や専門人材を同席できるため、**お客様へ手厚いサポート、即時疑問解消につながり、喜びの声を多くいただきました。**

またそういった**プラスの行動(生産性アップ・顧客満足度アップ)**をする職員を評価するための仕組み(「あすか式「純」生産性評価管理制度」)を活用することで、**自発的に行動でき、自発的に社内外に提案する職員が増えました。**

このようにただ生産性を上げることに注力するだけではなく、お客様と事務所とWini-Winの関係を築くこともできております。

監査部門の生産性向上による効果

ここまであすか税理士法人様の特別インタビューをご紹介いたしました。いかがでしたでしょうか？

ご挨拶が遅くなりました。私、株式会社船井総合研究所の塩見 菜緒と申します。

今回、本レポートをお読みいただいている方へお伝えしたいことがあります。

それは、**監査部門に注目した生産性向上に取り組む**ことです。

株式会社船井総合研究所
士業支援部 会計グループ リーダー

塩見 菜緒



1 ただツールを導入するだけだと絶対失敗する!?! 仕組から改善

ただデジタルツール(ZOOMやチャットワーク等)を導入する、それだけでは浸透もできず、得られる効果がごく一部になってしまいます。すでに導入しているが形骸化してしまっているツールはありませんか？

ツール導入と合わせて、従業員への説明の実施、顧問先へのご案内、マニュアル・ルールの作成・浸透、社内文化・評価の仕組みを変えていくことが重要です。

繰り返しになりますが、**仕組から改善することがポイントです。**

ただツールを導入するだけだと、一部だけうまくいっても事務所全体として効果のあるものにならない、その結果形骸化していき、生産性向上できず、また次のツールを模索し…と負のループにはいつてしまいます。

2 早期育成と顧客満足が同時に実現可能

生産性向上への取り組みにより、先輩社員の監査の現場に同席が容易になり、**若手社員にとって自分の成長イメージが具体化**されます。そのため、**どういう知識が必要か？も自ら把握できるようになり、社内勉強会を通じて必要な知識を身に付けていきます。**またその担当だけでは補いきれな

い知識・専門分野で、社内の別の職員のノウハウを合わせれば対応可能となれる場合、気軽に同席も可能のため、顧客の質問を持ち帰り確認して回答するという手間も省け、**顧客としても即回答・提案をもらえるため、育成と満足度の両輪を回すことが可能となります。**

3 仕組の変化で能動的に動く社内文化醸成にも

「顧客に提案しない…」「自ら勉強しない…」職員に対しそういったお悩みを持つ先生も多くいらっしゃいます。しかし同席する、提案する、追加受注するといった動きに対して評価をする制度、売上に貢献した分還元する賞与の制度を作っていくことで、能動的な職員育成にもつながります。

監査担当者の生産性向上に取り組むことは、ただツール導入にとどまらず仕組から改善することで、あすか税理士法人様のように、**労働時間を年間84時間減らしながら生産性を126%向上させることが可能**です。